

〈セミナーのご案内〉

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回				
覧				

ニューキャンパスシリーズ 47 (通算 518 回)

2012 年 1 月 20 日 (金)

被害・加害なきキャンパスを目指して——

セクシュアル・ハラスメント対策の最新動向と実際Ⅲ

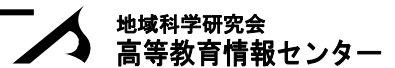
～事案・裁判例／相談の傾向／学外機関（実習先・専門機関）との協働・連携～

- ※ 判例に見るグレーゾーン／原因・温床と事前予防／事後対策の失敗例／法的対策
- ※ [東京経済大] 1 年次全学部での防止・人権啓発活動／10 年間のハラスメント理解度チェックデータ
- ※ [中央大] 構成員別防止啓発企画／学生視点の啓発活動／規程の限界／相談者視点の支援
- ※ [実習] 実習開始と受入れに係る体制整備／トラブル関係アンケート調査／実習の継続へ～解決事例

● 講師陣 ●

菅谷 貴子 氏	／	山田・尾崎法律事務所 弁護士
宮本 恵 氏	／	東京経済大学 人権コーディネーター
飯塚 恭子 氏	／	中央大学 ハラスメント防止啓発支援室 室長
高橋 寛 氏	／	秋田県薬剤師会 実務実習受入委員会 委員長

2012 年 1 月 20 日 (金) 剛堂会館ビル 会議室 (東京・麹町)



日 時：2012 年 1 月 20 日 (金) 9:50～16:40

会 場：剛堂会館ビル (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)
千代田区紀尾井町 3-27 03-3234-7362

アクセス：東京メトロ有楽町線「麹町駅」1 番出口より
徒歩 4 分、または JR 中央・総武線「四ツ谷駅」
麹町口より徒歩 10 分
※会場の地図及び受講証を送付しますので
必ずご確認ください。

参加費：A. ご一名 (資料代込)

40,000 円 (消費税込)

B. メディア参加 (資料・音声 CD 送付)

41,000 円 (送料、消費税込)

※参加費の払い戻しは致しません。申込者の都合
が悪いときには代理の方がご出席ください。

申込方法：参加申込書に所要事項を記入のうえ
FAX または E-mail にてご送付ください。

支払方法：銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。
みずほ銀行麹町支店 普通 1159880
三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767
三井住友銀行麹町支店 普通 7411658
郵便振替 00110-8-81660

口座名 < (株) 地域科学研究会 >

※ご請求なき場合は振込受領書を領収書に
代えさせていただきます。

申 込 先：地域科学研究会・高等教育情報センター
東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106
Tel：03(3234)1231 / Fax：03(3234)4993
E-mail：kkj@chiikikagaku-k.co.jp
URL：http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/

☆FD・SD 及び BD 研修の本格化に伴い、2007 年から受講・修了証明書を発行しております。

キリトリ線 (※参加申込みの折は必ずお送りください)

研究会参加申込書

ニューキャンパスシリーズ 47

201 年 月 日

セクシュアル・ハラスメント対策の最新動向と実際Ⅲ

当日参加 メディア参加
(に 印を入れてください)

勤務先 _____

連絡部課・担当者名 _____

所在地 〒 _____

メールアドレス _____

TEL _____ FAX _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

(通信欄) 支払方法 (郵便振替 当日払い 銀行振込) 必要書類 [請求書 見積書]

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
9:50 } 11:10	<p>□ セクシュアル・ハラスメント事案・裁判例と法的対策の要点 ～判例にみるグレーゾーン／調査・処分上の留意点～ 山田・尾崎法律事務所 菅谷 貴子</p> <p>1. セクシュアル・ハラスメントとは (1) セクシュアル・ハラスメントの定義と種類 (2) セクシュアル・ハラスメントの原因と背景</p> <p>2. キャンパスセクハラの特徴と原因 (1) キャンパスセクハラが起こる温床 (2) キャンパスセクハラの特徴(教員と学生との関係)</p> <p>3. キャンパスセクハラの前予防と事後対策 (1) 事前予防としての意識改革 (2) 事後対策の重要性と失敗例</p> <p>4. 最近のキャンパスセクハラ裁判例 (質疑応答)</p>
11:20 } 12:40	<p>□ [東京経済大] ハラスメント防止・人権啓発・相談体制の運営と実際 ～学内体制／人権コーディネーターとの連携による被害者支援～ 東京経済大学 宮本 恵</p> <p>1. ハラスメント防止・人権啓発 (1) 1年次基礎ゼミ～全学部実施 1) ニーズ・学部・授業内容に合わせた実施内容 2) 全90クラス・少人数・顔がわかるゼミでの実施手法 (2) ハラスメント理解度チェック～10年間の実践データ 1) ゼミ受講後の理解度チェック 2) 今どきの学生の傾向</p> <p>2. 相談体制の運営と実際 (1) 相談の仕組み 1) 人権コーディネーターの役割 2) 学内の連携のために必要なこと 3) 他大学との相談体制の違い (2) 被害者サイドに立つこと (質疑応答)</p>
13:40 } 15:10	<p>□ [中央大] ハラスメント防止に向けての全学的な取り組み ～防止啓発活動・多様な取り組みについて～ 中央大学 飯塚 恭子</p> <p>1. 全学的な防止啓発活動の取り組み (1) 構成員別防止啓発企画の実践 (2) 全構成員を対象とした防止啓発キャンペーンの実施 (3) 学生視点の防止啓発活動 1) ノンハラスメント・プロジェクト(本学の防止啓発活動を委員会と協働で行っている学生団体・通称NHP)の防止啓発の取り組み 2) NHPの発足と活動内容(キャンペーン企画立案と実施、キャンパス・ハラスメント啓発用DVDの制作など)</p> <p>2. 規程・ガイドラインの改定の検討 (1) 現実の相談に即した改正の検討 (2) 既存規程では対応に限界があるケースの扱いについて</p> <p>3. 最近の相談から思うこと～相談者(被害者)支援の視点 (質疑応答)</p>
15:20 } 16:40	<p>□ 実務実習先におけるハラスメント防止策 ～薬剤師会の取り組みと対応シナリオ～ 秋田県薬剤師会 高橋 寛</p> <p>1. 薬学6年制における長期実習の開始と受入れ態勢の整備～日本薬剤師会の取組 (1) 薬学部の実務実習の概要 (2) 受け入れ態勢整備でなにが課題となったか (3) ワーキンググループの設置 (4) 指導・教育の周知と留意点～ハラスメント防止策 (5) 予防と防止啓発活動例～DVD制作・アンケート実施</p> <p>2. 相談システムの構築～薬剤師会・薬局・大学の協力と連携 (1) ハラスメントの相談・対応窓口 (2) 解決に向けた事例紹介</p> <p>3. トラブル関係のアンケート調査結果と対応策 (1) 実習でのハラスメントをいかに把握するか～想定内のトラブルの洗い出し (2) アンケート結果で見えてきた問題点～実習生・受入れ施設 (3) 実習をよりよいものとするための進化シナリオ</p>